

大学入試学会誌執筆要項（第3巻）

1.原稿はPDF ファイルで作成する。

2.原稿は、以下の順に書く。

①研究倫理チェックリスト

②英文情報

- ・英文標題（必要に応じ、副題）

※以下、原著のみ

- ・英文要約（約150語）
- ・英語キーワード（5～6項目）

③論文情報

- ・論文種別
- ・標題（必要に応じ、副題）
- ・和文要約（約400字）
- ・キーワード（5～6語）

※氏名・所属等の著者の特定が可能になる情報は、ウェブ上で入力するため、原稿には記載しない。

④本文

⑤謝辞：必要に応じて記載する。

⑥注：必要に応じて記載する。

⑦引用文献リスト：記載方法は、「8」を参照。

⑧図表：番号は、図○、表○と表記する。（事務局が元のファイルを求めることがある。）

3.本文において節等の番号をつける場合には、節にあたるものは"1.", "2.", ... のようにし、第1節の第1節にあたるものは"1.1"のようにする。節等の番号の数字は半角とする。

4.原稿の作成方法と書式

- ・本文はA4版で1ページあたり23字×40行×2段で作成する。
- ・ページ左部分には、ページごとの行番号を表記する。
- ・読点は「,」、句点は「。」を使用する。
- ・氏名・所属等の著者の特定が可能になる情報は本文に記載しない。
- ・記述の原則は常用漢字、現代かなづかいとする。数字は算用数字を使用する。
- ・本文中における外国人名等の固有名詞は、原綴りあるいは英語綴りを原則とする。

5.謝辞を記載する場合、投稿時には氏名や助成番号を伏して記載し、最終校正で修正を行う。

例. 研究にご協力いただいた○○○○氏から貴重な助言をいただきました。本研究は××××の助成を受けたものです。

6.注は出来るだけ少なくする。必要な場合、論文等の最後、参考文献の前に一括して入れ、本文中の該当箇所の右肩に1), 2) のように示す。注番号の数字は半角とする。

7.引用文献の本文中での引用

著者が1人： 西郡 (2023) は..... Nakamura (2013) は... ...である (Nakamura, 2013)。

著者が2人： 宮本・倉元 (2018) は..... Koizumi & In'nami (2022) によれば.....
.....といている (Koizumi & In'nami, 2022) 。

著者が3人以上： 倉元他 (2020) は.....示されている (Wakita et al., 2012) 。

8.引用文献は、欧文・和文のものを一緒に、著作者の姓のアルファベット順によって並べる。同一著者の同年公刊の文献には、a, b, c, ... をつけて区別する。参考文献の欧文書式の詳細は Publication Manual of the American Psychological Association (Seventh edition, 2020) のスタイルに従うものとする。参考文献の和文書式の記述形式は、以下の順とする。

雑誌 著者 (発表年). 題名. 雑誌名, 巻数, 始ページ-終ページ. DOI

単行本 著者 (発表年). 書名. 発行所. DOI

編著本 著者 (発表年). 題名. 編者名 (編) 書名 (pp. 始ページ-終ページ) 発行所. DOI

引用文献

Koizumi, R., & In'nami, Y. (2022). Assessing functional adequacy using picture description tasks in classroom-based L2 speaking assessment. *JLTA Journal*, 25, 60–79. https://doi.org/10.20622/jltajournal.25.0_60

倉元直樹・宮本友弘・久保沙織・南紅玉 (2020). 東北大学における入試広報活動の「これまで」と「これから」ー頂点への軌跡からオンライン展開への挑戦へー. *教育情報学研究*, 19, 55-69.

Lichtenberger, E. O., & Kaufman, A. S. (2012). *Essentials of WAIS-IV assessment* (2nd ed.). John Wiley & Sons.
[上野一彦 (訳)(2022). 日本文化科学社.]

宮本友弘・倉元直樹 (2020). 国立大学における個別学力試験の解答形式の分類. 倉元直樹 (編) 大学入試センター試験から大学入学共通テストへ (pp.127-150) 金子書房.

文部科学省 (2021). 令和4年度大学入学者選抜実施要項について (通知).
https://www.mext.go.jp/content/20220705-mxt_daigakuc02-000010813_1.pdf (2024年4月30日閲覧)

中村高康 (編) (2020). 大学入試がわかる本ー改革を議論するための基礎知識. 岩波書店.

西郡大 (2023). 志願者本人記載資料がもたらす効果に関する検証. *大学入試研究ジャーナル*, 33, 74-80.
https://doi.org/10.57513/dncjournal.33.0_74

9.図や表は本文とは別に作成し、本文中で図表の挿入場所を指定する。図 1、表 5 のように一連番号を付するとともに、必ず題を付ける。なお、題の位置は図の場合は下、表の場合は上とする。図表番号の数字は半角とする。

10.原稿提出時には、以下の情報を登録する。

①大学入試学会誌投稿用フォーム：論文タイトル、著者情報（氏名、所属、会員番号、連絡先）等

②投稿原稿（投稿用様式と図表を1つのPDFファイルにまとめたもの）

③必要に応じて提出する書類：

・投稿原稿と関係が深い論文がある…当該論文の写し。

11.原稿は、この「執筆要項」に従って執筆し、11月1日から12月31日の間に大学入試学会ウェブページより提出する。

提出先：<https://www.jaruas.jp/gakkaishi/>